

July 30 2025 vol.149

いわての看護

Iwate Nursing

いわての
ナースセンタ 82号
だより

合併号

No.21



奥州市 えさし藤原の郷 藤のトンネル

●令和7年度 岩手県看護協会 会員数の動向

保	助	看	准看	計
271人	288人	6,587人	104人	7,250人
令和7年度 災害支援ナース登録者			109人	

令和7年7月13日現在



雪の結晶の北海道



赤いリンゴの青森県

特設があったって
メッチャ可愛い♡

北海道・東北5県の
“かんばんちゃん”を
3回シリーズで
紹介しちゃうよ!!



会長あいさつ

公益社団法人岩手県看護協会
会長 相馬 一二三



去る6月14日に岩手県看護協会通常総会が開催され、多くのご来賓の方々、並びに会員の皆様からご参加いただき心より感謝申し上げます。たくさんの方からご参加いただき、嬉しく思っております。

また、6月11日の日本看護協会通常総会で「看護の将来ビジョン 2040」が公表され、2040年を見据えた看護提供体制のあり方が提言されました。その中で「～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の具体的な内容が示唆されました。当協会も今後を見据えながら地域の実情を鑑み、対応策を検討してまいりたいと考えています。

さて、医療を取り巻く環境は変化し、医療・看護の方向は病院から在宅へと移行され、難病の方や医療的ケア児・緩和ケアを必要とする方も在宅で生活しています。また、当県は全国に比べ高齢化率が高く、スピードも早いと言われていますが、その一方で高齢者人口が減少している地域もあります。当協会では、看護のニーズに対応しつつ高齢者のストレングスにも視点をおき、人生100年時代を目標に健康寿命の延伸と重症化予防にも注力してまいりたいと考えています。

また、多くの事業を推進していくためには、会員の皆様のご支援とご協力が必要となります。しかしながら、全国的にも会員数が減少していますが、当協会も会員数の維持・加入促進が困難な状況になっています。そのため、看護協会の活動内容をさらに理解していただくことを目的に、今年度から看護協会内・外の会長の講話の殆どを看護協会の活動内容に変更しました。また、5月からは、看護協会の役員（会長・専務・常務）が盛岡市近郊の各施設を訪問させていただいています。会員の加入促進を図ると共に各施設の現状と課題を把握し、課題解決の一助になるよう努めてまいりたいと思っています。皆様にとって少しでも看護協会を身近な存在に感じていただければ幸いです。

結びに、皆様には、課題が山積している中日頃より看護サービスの質の向上にご尽力いただいていることに感謝申し上げるとともに、健康管理には充分ご留意されご活躍いただきますよう祈念し、ごあいさつとさせていただきます。

日本看護協会会長表彰を受賞して 保健師 千葉 澄子

このたび、岩手県看護協会の推薦により日本看護協会会長表彰を受賞いたしました。

これもひとえに諸先輩をはじめ協会役員・会員の皆様のご指導お力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

昭和53年に当時の滝沢村に就職し、先輩方にならい当然のように看護協会に入会いたしました。

私の協会活動は、就職して間もない頃に盛岡地区支部の推薦委員をお引き受けした時から始まったと記憶しておりますが、この頃はまだ協会活動についてはあまり理解していなかったと思います。

その後、職能委員や教育委員、更に職能委員長、副会長を務めさせていただく中で看護協会の存在意義や公益団体としての役割など少しずつ学んできたように思います。最初は戸惑うことも多くありましたが、先輩方の背中を追って、時にはご指導を頂きながら、なんとか職務を全うしてまいりました。

これからも私たち看護職を守り育ててくれる協会事業に微力ながら協力してまいりたいと思います。



令和7年度（公社）岩手県看護協会役員紹介

副会長／森川 一枝

副会長として2年目、協会の役割について理解を深めつつ、役割を果たしたいと思います。



副会長／佐藤 悦子

「一粒万倍」日々の努力を成果に!



専務理事／高橋 弥栄子

専務理事、3期目となります。看護職に必要とされる看護協会を目指してまいります。



常務理事／目時 のり

研修会の企画・運営を通して、看護職の役割拡大のニーズに応えていけるよう取り組んでまいります。



常務理事／富山 香

人との関わりを大切にしながら、会員の皆さまのお力になれるよう役割発揮に努めます。



書記理事／富岡 幸子

皆様のお役に立てるよう今年度もできる限り頑張ります。よろしくお願いいたします。



書記理事／伊五澤 幸子

看護協会の活動に、書記理事として役割発揮ができるよう努めてまいります。



会計理事／佐々木 真紀子

看護協会の使命を果たすため、会員の皆さまとともに一生懸命取り組んでまいります。



会計理事／見澤 ゆかり

皆様からご指導をうけながら、新任会計理事として努力してまいります。



保健師職能理事／浅沼 圭美

「一期一会」を大切に、保健師職能理事として役割発揮できるよう努めてまいります。



助産師職能理事／蛸崎 奈津子

安全・快適な妊娠出産の実現と女性の健康増進に向けた助産実践の推進に努めてまいります。



看護師職能理事Ⅰ／佐藤 加代子

病院で勤務される看護師皆様のご意見を頂きながら、協会事業活動に尽力してまいります。



看護師職能理事Ⅱ／伊藤 江利子

私自身、新たな挑戦と捉え取り組みたいと思います。よろしくお願いいたします。



准看護師理事／柏倉 勝子

皆様に御指導頂き、気持ちを新たに頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。



盛岡地区理事／大平 栄子

役員の皆様と協力し、地域に貢献できるよう精一杯努めてまいります。



花巻地区理事／吉田 道子

花巻支部の皆様と一緒に、楽しく活動できるように取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。



北上地区理事／小原 有里江

初めてでわからないことが多くご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。



奥州地区理事／佐藤 智恵美

支部役員と協力しながら、活発な協会活動が出来るよう努めてまいります。



一関地区理事／浅沼 由子

一関支部役員と協力し、地域に貢献できるよう、活動に取り組んでまいります。



大船渡地区理事／畑中 広江

支部役員と協力し合い、楽しく活動に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



釜石地区理事／藤原 美幸

役員の皆様と協力し、地域に貢献できる活動を目指して取り組んでまいります。



宮古地区理事／宮本 佳保里

宮古支部の皆様と協力し支部活動に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



久慈地区理事／山田 由美子

役員と協力し、支部活動を通じて地域に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



二戸地区理事／外館 善裕

地区理事として2年目となります。二戸支部の皆様と協力し合いながら、地域に貢献出来るよう尽力します。



監事／北村 和子

看護職を支える組織と事業を推進する理事に敬意を表し、監事の職務に努めてまいります。



監事／海沼 建司

私はこれまで42年間、病院事務に携わってきました。微力ながら監事として、協会発展のため頑張っていきたいと思います。



よろしくお願いいたします!



令和7年度

日本看護協会通常総会・ 全国職能別交流集会報告

日本看護協会通常総会 参加報告（6月11日開催）

令和7年度の公益社団法人日本看護協会通常総会に代議員として参加しましたので、ご報告いたします。

今年の通常総会は、6月11日に幕張メッセで開催されました。代議員747名に加え、一般参加者を含め総勢1,147名でした。開会式では、千葉県看護協会会長の増淵美恵子氏や千葉県知事らから歓迎の言葉がありました。

続いて、日本看護協会会長の高橋弘枝氏から、会員や関係者への謝辞と新ビジョンとして「看護の将来ビジョン2040～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」について公表がありました。ICTなどのデジタル技術が積極的に導入され、私たちの暮らしと看護を取り巻く状況は大きく変化しています。年々出生率が最低を更新し、現役世代の激減と85歳以上の高齢者増加は、今や社会全体で取り組むべき大きな課題です。日本看護協会は、2040年を見据え、増え続ける医療・介護ニーズに応えていくために、**看護職のキャリア形成と自己研鑽の支援、専門性を発揮して働き続けられる環境づくり、看護職のウェルビーイングの重要性**を明確に打ち出しました。

次に議決事項に移り、第1号議案では18名の名誉会員が推薦され、承認されました。第2号議案では、2025年度改選役員および推薦委員候補者の紹介と投票が行われ、会長、副会長、理事、地区理事、監事、推薦委員が決定しました。新しい会長には秋山智弥氏が選出されました。秋山氏は、2017年4月から2021年3月まで岩手医科大学看護学部で特任教授を務められており、岩手県看護協会の研修や学会に尽力されてきた経緯があります。私たちにとって馴染み深い方が当選されたことを大変喜ばしく感じています。

報告事項では、令和6年度の事業報告、決算報告および監査報告がありました。さらに、令和7年度の重点政策・重点事業および事業計画、資金収支予算および収支予算報告がありました。各県の代議員からは、日本の医療・看護に対する熱い思いや、処遇改善、専門職としてのこれからの看護のあり方など、多岐にわたる活発な意見や要望が寄せられました。会場内の熱気に圧倒されながらも、私たち自身も看護の未来を担う一員として奮起する瞬間を経験できました。今回の総会で直接、日本看護協会の取り組みを聞くことができなかった協会員の皆様は、ぜひ協会ニュースやホームページなどを参照していただければ幸いです。最後になりますが、今回、当協会から千葉澄子氏が**日本看護協会会長表彰**を受賞されましたこと、心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます！

（副会長 佐藤 悦子）

全国保健師交流集会（6月12日開催）

委員長の松本珠実氏から、本総会で公表された「看護の将来ビジョン2040」を踏まえテーマは、保健師が「地域に愛着を持つ」意義や価値を考える機会とするとの挨拶から始まりました。

特別講演は「地域の人々とつながり成長していく保健師の魅力～地域のために奔走する新人保健師を描いた漫画作者の立場から～」と題し、漫画『保健師がきた』を執筆中の漫画家 埜納タオ氏が講師でした。埜納氏は、保健師がCOVID-19対応に追われている報道を連日、眼にしたことをきっかけに、漫画を通して保健師の仕事の印象、魅力、重要性等をユーモアを交え、多くの読者に伝えている講演内容で非常に興味深いものでした。

シンポジウムは、「地域への愛着を基盤とした保健師活動の展開」をテーマに座長 大森純子氏（聖路加国際大学大学院公衆衛生看護学教授）が趣旨説明後、新任期、中堅期、プラチナ世代の保健師3人から話題提供がありました。フロアとの意見交換では、地域への愛着は、地域に責任を持つ、地域の担当であることを誇りに思う、専門職としてのアイデンティティ確立に繋がることであり、「地域への愛着からはじめる保健師活動」が保健師の合言葉になることを共有し会は終了しました。

（保健師職能委員長 浅沼 圭美）



■ 全国助産師交流集会 参加報告（6月12日開催）

今年度の交流集会は2部構成での開催でした。前半の三部会合同交流集会では通常総会で承認された「看護の将来ビジョン 2040—いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護—」をもとに、各職能代表者が看護の未来について語りました。片岡弥恵子氏（助産師職能委員会）はライフコースアプローチの視点から胎児期・乳幼児期の健康がその後の長い人生に大きな影響を与えることを伝えながら、プレコンセプションケアを含め胎内から生涯にわたる女性の健康をまもり支える助産実践の役割がさらに重要となることについてお話されました。



後半の助産師職能交流会での講話「最新の母子保健政策の動向」では、特に産後ケア事業について支援を要するすべての妊産婦が利用可能な事業への拡大に伴い母子保健法から子ども・子育て支援法へ位置づけが変更したと、安全対策をさらに充実させることなどが話されました。続く実践報告は市内すべての小・中学校に兼業としてのいのちの授業を行う大和高田市立病院の助産実践についてのご報告でした。

岩手県看護協会では昨年度から「助産師活躍推進事業」を県から委託されています。助産師には一人ひとりの生涯の礎となる時期の健康をまもり支える重要な役割があります。今後も助産師がより役割発揮できるよう職能委員会として貢献していきたいと思います。

（助産師職能委員長 蛭崎 奈津子）

■ 全国看護師交流集会Ⅰ 病院領域（6月12日開催）

木澤晃代委員長の挨拶に続き、2024年度活動として、「ベースアップ評価料の活用を含む病院看護職の処遇改善」「病院職員の多様で柔軟な働き方の導入促進に向けた取り組み」についての現状と課題が報告されました。2025年度活動方針として「病院職員に対する暴力・ハラスメントと防止対策の現状把握」「病院における看護補助者の課題発見、意見集約」が発表されました。

その後、基調講演「2040年に向けて、看護の価値をどうつなぎ、創っていくか」（慶應義塾大学看護学医療学部 小池智子氏）が行われました。そこでは、過去の延長線上に未来を描いたり、先人の成功体験をそのまま2040年の問題解決に応用できないため、構想力や新たな解決策を創造しトライしていく力が不可欠であることが語られました。

シンポジウムでは「2040年の看護に望むこと」と題して患者の立場、看護実践者の立場、看護管理者の立場から話題提供がありました。地域のなかで病院の存在意義を考えながら、時代の変化に応じた看護業務の効率化に取り組んでいくことへの課題、それでも変わらぬ看護の本質について考える機会となりました。

（看護師職能委員長Ⅰ 佐藤 加代子）

■ 全国看護師交流集会Ⅱ 介護・福祉関係・在宅領域等（6月12日開催）

委員長の田母神氏より、2040年には85歳以上人口が1000万人以上となる予測から、ますます看Ⅱ領域の人材確保と定着が必要となることを踏まえ、活動方針として情報収集・課題発見・魅力発信等が示されました。

情報提供では、厚労省看護職員確保対策官から、2040年に向けた看護職の役割の重要性と確保についての背景と対策について説明がありました。人材確保は、二次医療圏ごとの課題に応じた新規養成、復職支援及び定着促進の3つを柱にすること、質の確保は、処遇改善の推進やナースセンターの機能強化等への取り組みを日本看護協会及び都道府県看護協会等と連携しながら進めていくとのことでした。

パネルディスカッションでは、「人が集まり定着する-魅力ある看Ⅱ領域であるために-」をテーマに、埼玉県看護協会、介護施設、訪問看護ステーション、看護小規模多機能型居宅介護施設の4名から発表がありました。他団体との共催研修の実施、認定・専門看護師の活用による人材育成、学び続けられる環境、安心して相談ができる職員の生活に応じた働き方の導入等の話題提供がありました。組織を越えた連携について意見交換が行われ、ニーズが増す看Ⅱ領域における人材確保・定着のためのヒントをいただいた交流集会でした。

（常務理事 富山 香）

令和7年度 岩手県看護協会 ～通常総会～ 報告

令和7年度岩手県看護協会通常総会は、6月14日（土）にトーサイクラシックホール岩手で開催しました。

当日は、盛岡チャグチャグ馬こと同日でしたが、昨年より多い会員の参加があり、ご臨席いただいた来賓の皆様含め、心より感謝いたします。正会員271名、委任状5,603名、計5,874名（6月10日時点の会員数7,158名）の参加があり、定款第17条により会員数の過半数である定足数に達し総会は成立され、滞りなく開催することができました。

相馬一二三会長の挨拶で、日本看護協会が策定した「看護の将来ビジョン2040」について、“2040年に向けて看護が目指すもの”“あるべき看護の実現に向けた戦略”が明記されており重要な道しるべになると話されました。また、2月に発生した大船渡林野火災において、保健師を中心とした多くの関係者の支援に対し敬意と謝辞が述べられました。

今年度は表彰年であり、会長表彰、感謝状、まちの保健室従事者感謝状、永年勤続表彰として、総勢78名の方々が受賞されました。おめでとうございます。

その後、2つの議決事項と4つの報告事項について説明があり、いずれも承認されました。令和6年度事業報告並びに令和7年度事業計画の説明に対し、3名の方から貴重な質問・意見を頂戴し、今後の事業運営に参考になる内容でした。最後に新旧役員の紹介があり、旧役員を代表して3期6年務められた会計理事・千葉るり子様よりご挨拶をいただきました。コロナ禍を経て現在に至るまで、積極的に協会活動に尽力していただいたことが思い出され、感謝の念でいっぱいになりました。

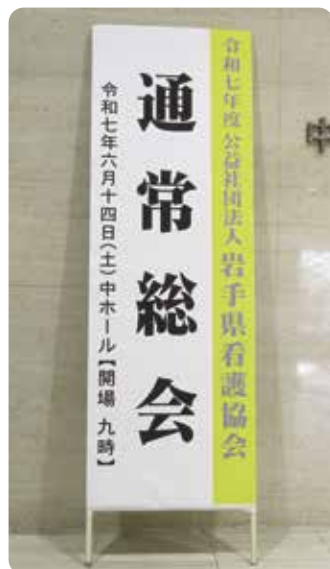
岩手県看護協会は、社会ニーズに対応すべく、令和7年度事業を積極的に進めてまいります。

これからも皆様の更なるご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

（専務理事 高橋 弥栄子）

【役員の選定】 ※選挙結果は当会ホームページに掲載（監事除き）

副会長	佐 藤 悦 子	地区理事（奥州）	佐 藤 智恵美
専務理事	高 橋 弥栄子	地区理事（一関）	浅 沼 由 子
常務理事	目 時 の り	地区理事（大船渡）	畑 中 広 江
書記理事	伊五澤 幸 子	地区理事（宮古）	宮 本 佳保里
会計理事	見 澤 ゆかり	地区理事（久慈）	山 田 由美子
看護師職能理事Ⅱ	伊 藤 江利子	監 事	北 村 和 子
地区理事（盛岡）	大 平 栄 子	監 事	海 沼 建 司
地区理事（北上）	小 原 有里江		



開会式での会長挨拶



旧役員代表挨拶 千葉 様

看護の将来ビジョン2040 ～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～

日本看護協会は令和7（2025）年度通常総会において「看護の将来ビジョン2040～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」を公表しました。

これは、2040年に向けて、社会、医療の変容を踏まえ、その変化に対して看護が進むべき方向性、そのために何をすべきかを示したものです。ぜひ、ご一読ください！

日本看護協会ホームページからダウンロードできますので、
ご活用ください。

<https://www.nurse.or.jp/home/about/vision/>



「岩手県医療的ケア児支援センターと看護」

岩手県医療的ケア児支援センター相談窓口
医療的ケア児等コーディネーター 大力 聡美



医療の進歩に伴い、医療的ケア児は増加傾向にあります。国は病院に長期入院する医療的ケア児の在宅移行を進めてきました。しかし、受け皿が十分でないまま在宅移行が進んだため家族の負担が大きいのが実情でした。そのため、令和3年に医療的ケア児支援法が施行され、医療的ケア児が地域で暮らしやすいよう社会全体で支えることになりました。このような背景もあり、医療的ケア児が地域の保育園や学校にも通うケースが増えています。

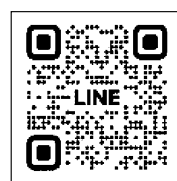
岩手県医療的ケア児支援センターは、医療的ケア児支援法の施行を受け令和4年9月に岩手県が設置し、私が所属しているみちのく療育園メディカルセンターが相談支援業務と地域体制構築支援業務を担当しています。スタッフは小児科医1名、医療的ケア児等コーディネーター2名（看護師、社会福祉士）の3名で業務にあたっています。相談対象者は、医療的ケア児者の他、重症心身障がい児者、肢体不自由児者、内部障がい児者と幅広く対応しています。当事者やご家族からの相談対応の他、相談の約7割は支援者からです。在宅移行や就園就学に関する相談が多く、医療関係者以外にも行政、福祉、保育、教育等様々な分野の方から相談を受けます。

“医療と共に地域で暮らす”しかし、その受け皿は決して医療だけではありません。医療的ケア児と家族が地域で暮らしやすいよう日々努力している多職種の方がいらっしゃいます。私達看護師は、患者や家族に近い医療職だからこそ、それを地域で支える支援者とも手をつなぐことができるのではないのでしょうか。医療的ケア児が保育園や学校に通うにあたり、保育園看護師や学校看護職員、最近では訪問看護師も活躍されています。今後、地域で医療的ケア児を支えて下さる看護師とともに多職種をつなぐお手伝いをしていきたいと思います。



岩手県医療的ケア児支援センター
♥ 公式ホームページ ♥

LINE 公式アカウント
お友だち追加は
こちらから



♥ LINE 公式アカウント ♥



令和7年度

「看護の日」記念行事

5月10日（土）いわて県民情報交流センター アイーナにおいて、「看護の日」記念行事～看護の心をみんなの心に～が開催されました。当日は将来、看護職を目指す中高生、その保護者、地域の小学生など約110名が参加し、会場ロビーでは看護の日のキャラクター「かんごちゃん」がお出迎えし、血管年齢測定や肌年齢測定、お菓子すくいの催事でにぎわいました。

オープニングは、「LIPS DANCE SCHOOL」の皆さんの若々しく躍動感あふれるダンス。ダンサーの皆さんのエネルギーが会場全体に伝わり、明日への活力となるステージに魅了されました。

第一部は「看護の魅力発信」として、ひとの一生を支える看護の力をテーマに、現役のスペシャリスト4名が、それぞれの職種の仕事の実際や魅力をプレゼンテーションしてくださいました。

特に盛り上がりを見せたのは、第二部の「教えて！看護学校って…実際どう？」でした。IBC 岩手放送の奥村奈穂美アナウンサーの司会で進められたトークショーでは、中学生4名、高校生3名から「学校生活のこと」、「中高生のうちから準備していた方がいいこと」などの質問があり、看護学生2名が回答してくれました。会場の参加者も看護学生の話に興味津々の様子で質問が飛び交い、「患者さんから感謝されると嬉しい」「実習記録が大変」などの本音トークに時折会場が笑いに包まれ、あたたかな雰囲気のトークショーになりました。

今回の「看護の日」記念行事で、看護の心がみんなの心に届き、ますます看護に興味を沸き、看護職を目指したい思いが強くなったのではないのでしょうか。いつか一緒に働ける日を楽しみにしています。

（広報出版委員 鈴木 睦）



かんごちゃんと記念写真！
大モテでした



血管年齢測定



肌年齢測定



上手にお菓子を
すくえたかな？！

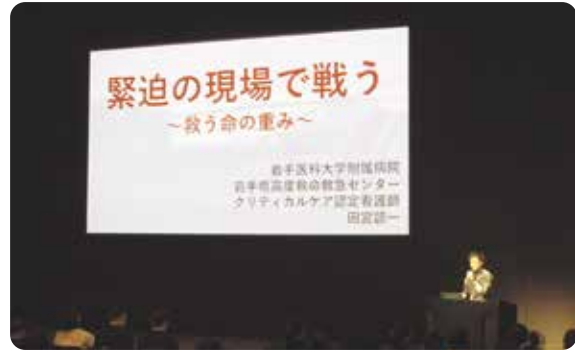


オープニングの躍動感あふれるダンス

♥ 看護の魅力発信



盛岡赤十字病院
アドバンス助産師 高村 ゆりえ 氏



岩手医科大学附属病院
クリティカルケア認定看護師 田宮 諒一 氏

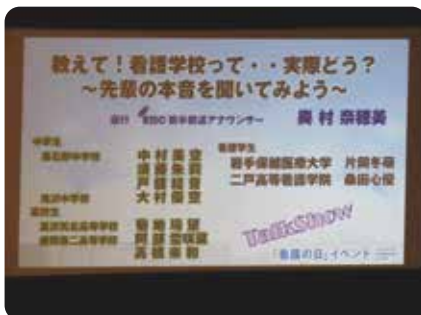


滝沢市役所健康こども部
保健師 藤井 彩加 氏



もりおか往診ホームケアクリニック
緩和ケア認定看護師 和賀 初美 氏

♥ 教えて！看護学校って…実際どう？トークショー



看護学生2名と中高生7名のスピーカー



質問に答える看護学生(右2名)



ステージ上での積極的な質問



メモを取る客席の生徒



♥ 参加者の感想

♥ 緩和ケア認定看護師やフライトナースなど知らない仕事を知ることができ、詳しく調べようと思った。

♥ 自分のなりたいものに、しっかりとしたビジョンを今回で固めることができた。

♥ 看護師として人に貢献できるように頑張りたい。

「WLB推進フォローアップ・ワークショップ」の変遷

岩手県ナースセンターでは、2011年から「働き続けられる職場環境づくり事業」として、準備委員会を設立しました。2013年に推進委員会と名称を変え、初めてのWLB推進ワークショップを開催し、5施設36名が参加しました。

その後、多くの施設が「医療従事者のWLBインデックス調査」を現状把握のツールとして活用し、働く環境改善に取り組み、年度末には「WLB推進フォローアップ・ワークショップ」で成果発表を実施しました。ナースセンター事業部では、WLB推進委員と共に取り組みの進捗状況の確認や助言を行い、支援してきました。

その後、少しずつ参加施設が減少し、11年目を迎えた昨年、1施設からの発表を最後にWLB推進委員会も終了しました。

昨年は、取り組みを希望する施設が1件もありませんでしたが、逆に捉えると、この11年間で看護管理者の皆さんの、自施設の働く環境を整える意識と刷新力がとても高まったのだと考えられます。

今後も働き続けられる職場環境づくり推進事業は継続してまいりますので、よろしくお願いいたします。

今年度は看護管理者による職場環境改善報告会と、実践する看護職の皆さんと共に「誰もが安心して働ける職場環境を考える会」を開催したいと考えております。

これまで、推進委員等を担ってくださった方々や、WLB推進フォローアップ・ワークショップに参加してくださった病院・施設の皆様に、この場をお借りし感謝申し上げます。

(ナースセンター事業部長 柳田 美喜子)

WLBワークショップ 参加施設(3年継続)

参加年	病 院 名
H25	盛岡赤十字病院
	高松病院
	盛岡つなぎ温泉病院
	宮古山口病院
	総合花巻病院 (1年間)
H26	藤沢病院
	内丸病院
H27	県立久慈病院
	県立大東病院
H28	県立宮古病院
H29	一関病院
	県立高田病院
	県立大船渡病院
	川久保病院
H30	岩泉病院
	昭和病院
R元	いわてリハビリテーションセンター
R2	県立東和病院
	奥州市総合水沢病院
R3	孝仁病院
R4	未来の風せいわ病院
R5	(新規取り組み施設なし)
R6	※未来の風せいわ病院の発表で ワークショップ形式は終了

H26 WLB 推進
研修会の様子



R6 WLB 推進研修会の様子
ZOOM 活用で遠距離でも
参加しやすい!



リソースナース紹介

皮膚排泄ケア認定看護師の活動状況

盛岡市立病院 皮膚排泄ケア認定看護師
鈴木 詩希子



私は2012年に皮膚排泄ケア認定看護師の資格を取得しました。

資格取得を目指したきっかけは、過去に経験した患者さんの褥瘡ケアです。最初は大転子部に発生した小さな褥瘡でしたが、指示された処置を行っても全くよくなり悪化していく一方でした。最終的にその患者さんは敗血症で亡くなり、私はこの症例で「小さな褥瘡でも人は命を落とす」ということを初めて経験しました。

患者さんが亡くなった後、後悔と自責の念に駆られながらも自分のケアを振り返り、自分は指示されたケアを行うだけで褥瘡について何も学ぼうとしていなかったこと、実践したケアを評価せず責任を持てていなかったことに気が付きました。そして「根拠を持った責任があるケアをしたい」と考えるようになり資格取得を目指しました。

現在は、病棟勤務をしながら週1日を認定看護師活動日として院内を組織横断的に活動しています。その他、ストーマ、フットケア外来を担当し多くの患者

さんに専門的な知識と技術を提供する場をいただいています。

また、地域への同行訪問も行い、褥瘡・ストーマケア指導を行っています。同行訪問することで在宅で過ごす方、それを支える医療者が認定看護師に何を求めているか、退院支援としてどのような援助が必要なのかをより具体的に知ることができ、日々の援助に活かすことができています。

今年4月から特定行為研修を受講しており、毎日勉強、仕事、子育ての両立に奮闘しています。1日があっという間に過ぎ、ソファで寝落ちしてしまう日も多々ありますが、たくさんのことを学び、今後は院内だけでなく地域のリソースナースとしても活躍できるよう努力し続けていきたいと思っています。



岩手県訪問看護総合支援センターより ～R6年度の活動について～

岩手県訪問看護総合支援センターは、地域の訪問看護に係るさまざまな課題を一元的及び総合的に解決し、訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点として令和6年7月に開設しました。当センターは、経営支援、人材確保、訪問看護の質向上の3つの柱を軸として事業を進めています。

令和6年度は、訪問看護の質向上の活動として、認定看護師等の講師派遣型研修を7回実施しました。これは、事業所の個別の課題に対し、当会リソースナースにご登録いただいている専門性の高い看護師等を事業所へ派遣し実践的な研修を自施設で行うことができる研修です。講師の皆様のご協力のもとに開催し、事業所からは大変好評をいただいております。その他にも、ウィル訪問看護ステーション江戸川の診療看護師 北渕未希氏を講師に招き、「排尿」と「排泄」に関するポータブルエコー研修を2回実施しました。エコーの活用には、①エビデンスに基づき看護技術が安心・安全に展開できる ②画像を客観的な視点で多職種連携のツールとして共有できる ③ご本人・ご家族と共有することでケアの方向性を一緒に考えることができる等の利点と活用の実際についてご講義いただきました。さらに、実技体験を行い画像から膀胱内の尿容積の算出方法等も学び、実践に即した研修会となりました。

今後も、訪問看護事業所の皆様のお役に立てるような研修会の企画等を行い、拠り所となるセンターを目指し活動してまいります。お力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

(訪問看護総合支援センター 松岡 真紀子)



認定看護師等の派遣型研修の様子



ポータブルエコー研修(排泄)実技体験の様子

ヘルシーワークプレイス!!

ー健康で働き続けられるためにー

シリーズ No.7



今回は新人のメンタルヘルス支援について紹介します。

働き続けられる環境づくり推進委員会

新人看護職員を迎える職場環境とレジリエンス支援の視点

近年の新人看護職員は、コロナ禍による実習機会の減少や対人経験の不足から、臨床現場での不安や自己肯定感の低下を抱えやすい状況にあります（厚生労働省，2023）。こうした背景を受け、今求められるのは、失敗や戸惑いを安心して共有できる「心理的安全性（psychological safety）」の高い職場づくりであると考えます。Edmondson（1999）は、心理的安全性を「メンバーが対人関係上のリスクをとることができると感じられる環境」と定義し、学習や創造性の促進に不可欠な要素であると指摘しています。

そのためには、部署全体で「学びあう職場環境」を意識することが重要です。これは、看護師同士が協働し、経験を共有し合いながら成長していく文化を意味します。こうした環境は、新人の「社会人基礎力（経済産業省，2006）」一すなわち「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」一の育成にも寄与し、実践力と人間力の両面を高めることができるでしょう。

また、新人のメンタルヘルス支援として注目されているのが、「セルフコンパッション（Self-compassion）」の視点です。Neff（2003）は、セルフコンパッションを「困難な経験に直面した際に、自分自身に対して思いやりと理解を持って接する能力」と定義し、ストレス軽減やレジリエンスの向上に効果があると報告しています。新人看護職員が、失敗や緊張に直面した際に自己を責めず、自らを肯定的に受け止められる力を持つことは、継続的な成長を支える大きな支柱となります。

今後の看護職育成には、「安心して挑戦できる場」「学び合える関係性」「自己を大切にできる心」の三つの支えが必要と考えます。新人が「ここで働きたい」と思える職場環境を整えることは、組織の活性化と看護の質向上の基盤となるでしょう。

（岩手県立大学看護学部 教授 岡田 みずほ）

看護職育成に必要な三つの支え		
安心して挑戦できる場 （心理的安全性） ↓ 学習や創造性の促進	学び合える関係性 （学び合う職場環境） ↓ 実践力と人間力の向上	自己を大切にできる心 （セルフコンパッション） ↓ 継続的な成長

【引用文献】

厚生労働省（2023）. 看護職員の確保・定着に向けた取り組み.

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000060682.html>（閲覧日）

経済産業省（2006）. 社会人基礎力に関する研究会報告書. <https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/>

訃 報

盛岡支部会員、松長根吾（さとる）様（岩手医科大学附属病院）が令和7年6月29日にご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

いわての ナースセンタ 82号 だより

岩手県ナースセンターはあなたを応援!!

保健師
助産師



看護師
准看護師

新任のごあいさつ



ナースセンター事業部 部長 柳田 美喜子



岩手県ナースセンターに就職して2年目、この4月からナースセンター事業部長を拝命いたしました。

岩手県ナースセンターは、離職時の「とどけるん」や求職時のeナースセンター登録の推奨・看護職員確保事業に係るイベントの開催や就業相談に対応しています。また、秋にはNuPSが開始になりますのでその周知等々、多くの活動を通して看護職の皆様のお役に立てるように努めてまいります。皆様のご意見をいただきながら精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

e ナースセンターを上手に活用しましょう

無料職業紹介サイト「eナースセンター」へご登録を!!
岩手県看護協会ホームページから登録ください

お仕事探し
(求職)



人材探し
(求人)



求職票の登録はこちらから!

こんな良さ

- 登録料・相談料・紹介料すべて **無料** (登録から就職まで完全無料)
- 自動マッチング (自分に合った求人を自動で検索) を Web で見られる
- 再就業支援研修が受けられる
- 地域の求人情報が得られる
- 相談員は看護経験者だから安心
- 看護協会非会員も利用できる

令和7年度 開催の研修 参加費無料

ライフスタイルに合った
働き方を一緒に考え、
あなたのキャリアを支援!

*詳細は決まり次第、岩手県看護協会 HP・機関紙などでお知らせします。

こんな方にオススメ

- 復職を考えている方
- ブランクがあり、技術に不安がある方
- 最新の医療・看護、医療安全などの知識を学びたい方

研修名	日程	会場
看護職員再就業支援研修会	7月8・9・11日 + 施設研修1日	看護研修センター
	10月9・10日 + 施設研修1日	総合花巻病院
看護技術演習 / DVD 視聴	随時 (希望者予約制)	看護研修センター

こんな方にオススメ

- 第二の人生を見据えセカンドキャリアを考えたい
- 新たな分野に挑戦したい
- 定年等による退職後も積み重ねた看護職の経験を活かしたい

研修名	日 程	会 場
セカンドキャリアセミナー	11 月 7 日	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
	11 月 14 日	水沢グランドホテル

こんな方にオススメ

- 看護補助者の仕事に関心・興味のある方
- 看護補助者の就業を考えている方

研修名	日 程	会 場
看護補助者の就業に向けた研修会	9 月 26 日・12 月 12 日	ハローワーク盛岡



お問い合わせ：岩手県ナースセンター

TEL：019-663-5206 e-mail：iwate@nurse-center.net

看護のおしごと相談はこちらへ！

予約不要・無料

相談者に寄り添う心を大切に
看護職の相談員が対応します

気軽に相談

- 就職や転職に関すること
- 仕事と子育てや介護との両立
- 仕事の悩み
- 進路やキャリアアップ
- 看護学生や看護職をめざしている方
- 看護職の人材を探している方

* 県内 10 ヲ所のハローワークで開催

ハローワーク「看護のおしごと相談」 看護就業支援専門員の紹介

盛岡／森 てる子

次の一步を踏み出すお手伝いをしたい
と思います。お待ちしております。



久慈／吉田 利留子

少しでも皆様のお役に立ちたいと思
います。気軽に相談に来て下さい。



花巻／佐藤 久美子（新任）

相談内容を親身に傾聴し、満足できる
マッチングに努めます。



二戸／田頭 浩子（新任）

少しでも皆様のお役に立てるよう頑張り
ます。



北上／佐々木 靖子（新任）

初心者相談員ですが少しでもお役に
立てるように頑張ります。



宮古／佐々木 順子

来所する相談者が少ないのが目下の悩
みです。相談に来て下さいね。



水沢／神田 香代子

希望先の見学を行ない、環境・雰囲気
をイメージした上で面接をお勧めます。



釜石／小国 紀子

一人ひとりのライフステージに合った働
き方を支援していきます！



一関／和泉 美奈子（新任）

初めてですが、少しでも皆さんの支援
になるよう活動したいと思います。



大船渡／橋本 禎子

これからも、微力ながら少しでも力に
なれるよう頑張ります！



○開催日時は、岩手県看護協会ホームページ <https://www.iwate-kango.or.jp> でご確認ください

* 相談は、求職活動の実績になります。

「マイナンバー制度を活用した 看護職の人材活用システム」

看護職として自分らしいキャリアを描く…
そんなあなたのために

看護職のための
ポータルサイト **NuPS** はじまります！

同じ職場で長く働く

自分の強みやライフイベントなどに合わせて働く場所を変える

休職や復職をしながらキャリアを継続する…

看護職には一人ひとりのキャリアがあります

看護職として経験したことや学んだことの積み重ねが

生涯にわたる財産となります

NuPS は、あなた専用のポータルサイト

積み重ねてきた **キャリア**や**学び**を蓄積して見える化します

共に最良のキャリアを築きましょう

開始は
2025年秋
以降

キャリア管理に役立つ3つの機能



キャリア情報の見える化！

医療従事者届出システムで登録された、職歴や取得した国家資格などの「看護職キャリア情報」を閲覧・出力できます。情報の閲覧はワンタイムパスワードで保護されているので安心してご利用いただけます。

※准看護師は一部の都道府県からご利用いただけます。

研修受講履歴のアウトプット！

受講した研修情報が一覧で表示されます。研修受講履歴証明書も出力できます。日本看護協会と都道府県看護協会が主催する研修情報から順次対応予定です。

お問合せ・ご相談もスムーズ！

サイト上で居住地または勤務地のナースセンターへ就業やキャリア継続に関する相談ができます。

パソコンでも
まったく同じ体験を！



♡NuPS開始が決まり次第、周知活動を行います(リーフレット配付・説明、ホームページ)♡

INFORMATION

職員紹介

事務局長／及川 博英

このたびご縁があり、看護協会の一員となりました。微力ながら全力を尽くしてまいります。よろしくお願いします。



ナースセンター事業部／三浦 美恵子

学びが多く、日々身の引き締まる思いでいます。温かな心がけを忘れずに、皆さまに寄り添いながらご支援していきたいと思ひます。



教育部／木下 香代子

4月から教育部で勤務しております。受講者の皆さんの学びを支えていけるように努めてまいります。よろしくお願いいたします。



岩手県訪問看護総合支援センター／松岡 真紀子

2月から当センターで勤務しております。皆様のお役に立てるよう努力してまいります。



岩手県看護協会 令和7年度理事会報告

開催日	協議事項等
第1回 5月16日	(1) 令和7年度岩手県看護協会通常総会開催時の議長団及び議事録署名人について (2) 令和6年度決算確定に伴う令和7年度資金収支予算書及び収支予算書の補正について (3) 通常総会報告事項(案)並びに提出議案 ①第1号議案：令和7年度改選役員及び推薦委員並びに令和8年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について(案) ②第2号議案：令和6年度決算(案)及び監査報告 ③報告事項1 令和6年度事業報告 ④報告事項2 令和7年度事業計画 ⑤報告事項3 令和7年度資金収支予算及び収支予算 ⑥報告事項4 令和8年度公益社団法人岩手県看護協会通常総会開催地 (4) 令和7年度岩手県看護協会職能委員の選任について(案) (5) 令和7年度岩手県看護協会常任委員・特別委員の選任について(案) (6) 令和7年度岩手県看護協会支部役員の選任について(案) →すべて承認
第2回 6月14日	(1) 役員の選定について (2) 令和7年度岩手県看護協会通常総会審議事項の確認 第1号議案：令和7年度改選役員及び推薦委員並びに令和8年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について 第2号議案：令和6年度決算及び監査報告 (3) 令和7年度岩手県看護協会支部役員の変更について →すべて承認



注目!

2024年度「看護職賠償責任保険制度」の運用状況について

看護職のための補償内容が充実しており、掛金が安価な「看護職賠償責任保険制度」をご存じですか。気になる運用実績について、日看協「協会ニュース6月号」に掲載されている内容を以下に抜粋しました。会員特典ですので、ぜひ加入を検討ください。

- 2024年度加入者数：17万8,525人 ※岩手県加入者数は、直近で563人と一番少ない状況
- 保険支払い件数：160件
【内訳】対物賠償49件／ハラスメント4件／傷害107件
- サービス推進室による相談対応
【内訳】医療安全・医療事故に関する124件／ハラスメントに関する95件
- コールセンターの対応：加入方法や資料請求など1万4,715件対応



詳しくはこちら

編集後記

6月から暑さが厳しく今年も酷暑が予想されています。また県内では様々な感染症も流行しています。熱中症に気をつけながら感染対策に努めましょう。

今回より医療的ケア児についての特集が3回シリーズで始まりました。普段、あまり耳にすることが無い内容かと思ひます。医療的ケア児とそれを支える家族を支援するために活躍している方々がおります。ぜひ、皆さま、目を通してみてください。